

# 平成 25 年度事業報告書

公益社団法人  
愛知県医師会

## 事業（庶務・会計・事務）に関する年度報告書

平成 25 年度の本会会務の運営並びにその事業の実施状況は、その都度、「愛知医報」等でご報告をいたしました。

その大要は次の通りであります。

### ○ 庶務に関する事項

#### 1. 会員の異動

入 会	529 名	(県内異動も含む)
退 会	315 名	( 〃 )
死 亡	82 名	
現在会員数	8,972 名	(別 表)

(平成 26. 3. 31 現在)

#### 2. 文書の収受、発送

収 受	23,025 件
発 送	364,177 件

#### 3. 会員の栄誉

(1) 平成 25 年春の褒章・叙勲者に対し記念品を贈り栄誉をたたえました。

旭日中綬章	三 宅 謙 作 殿
旭日双光章	志 賀 捷 浩 殿
瑞宝双光章	小 林 武 彦 殿
藍 綬 褒 章	安 形 篤 殿

平成 25 年秋の褒章・叙勲者に対し、記念品を贈り栄誉をたたえました。

瑞宝中綬章	馬 嶋 慶 直 殿
瑞宝中綬章	馬 嶋 昭 生 殿
瑞宝中綬章	勝 又 義 直 殿
瑞宝小綬章	角 岡 秀 彦 殿
瑞宝小綬章	山 田 高 路 殿
旭日双光章	堀 正 剛 殿
瑞宝双光章	鷺 見 廣 輔 殿

瑞宝双光章 桐 渕 惟 義 殿  
藍綬褒章 榊 原 敏 正 殿

(2) 平成 25 年愛知県医師会表彰規程による被表彰会員に記念品を贈り表彰いたしました。

千 種 区 安 藤 忠 夫 殿  
中 村 区 古 山 明 夫 殿  
中 区 服 部 達 哉 殿  
中 川 区 川 原 弘 久 殿  
港 区 武 田 敦 殿  
南 区 伊 藤 剛 殿  
南 区 平 光 伸 也 殿  
守 山 区 志 水 明 浩 殿  
春 日 井 市 齋 藤 隆 司 殿  
東 海 市 小 嶋 真 一 郎 殿  
稲 沢 市 城 義 政 殿  
知 多 郡 竹 内 正 殿  
岡 崎 市 小 原 淳 殿  
北 設 楽 郡 伊 藤 隆 啓 殿

(3) 平成 25 年難病の学術的研究に功績のあった会員に記念品を贈り表彰いたしました。

名古屋大学大学院医学系研究科

地域医療支援センター特任助教 伊 藤 瑞 規 殿

名古屋市立大学大学院医学研究科

地域医療教育学教授 大 原 弘 隆 殿

社会保険中京病院

皮膚科部長 小 寺 雅 也 殿

藤田保健衛生大学医学部

生理学講座 I 准教授 長 崎 弘 殿

#### 4. 物故会員

本年度（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月受付分）の物故会員は 82 名ありました（別表）。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

○ 事業に関する事項

1. 会 議

(1) 代議員会 2回

- ◆ 愛知県医師会第169回（定例）代議員会を平成25年6月30日（日）愛知県医師会館において開催し、次の議事、協議を行いました。

議 事

- 第1号議案 愛知県医師会代議員会副議長の選定及び日本医師会代議員の選出に関する件
- 第2号議案 平成24年度一般会計収支決算に関し承認を求めるの件
- 第3号議案 平成24年度生命保険特別会計収支決算に関し承認を求めるの件
- 第4号議案 平成24年度会館運営特別会計収支決算に関し承認を求めるの件
- 第5号議案 平成24年度会館整備特別会計収支決算に関し承認を求めるの件
- 第6号議案 平成24年度救急医療情報システム特別会計収支決算に関し承認を求めるの件
- 第7号議案 平成24年度医療秘書学院特別会計収支決算に関し承認を求めるの件
- 第8号議案 平成24年度広域災害救急医療情報システム参加医療機関医師災害補償基金特別会計収支決算に関し承認を求めるの件
- 第9号議案 平成24年度労働保険事務組合労働保険料特別会計収支決算に関し承認を求めるの件
- 第10号議案 平成24年度労働保険事務組合一般会計収支決算に関し承認を求めるの件
- 第11号議案 平成24年度愛知県医師会立名古屋助産師学院特別会計収支決算に関し承認を求めるの件

協 議

- ◆ 愛知県医師会第170回（臨時）代議員会を平成26年3月15日（土）愛知県医師会館において開催し、次の報告、議事、協議を行いました。

報 告

- 1) 平成25年度補正予算報告
- 2) 平成26年度事業計画報告
- 3) 平成26年度予算報告

議 事

- 第1号議案 平成26年度会費の賦課徴収に関する件
- 第2号議案 平成26年度会費減免申請に関する件

- 第3号議案 平成26年度入会金の賦課徴収に関する件
- 第4号議案 公益社団法人愛知県医師会選挙規則（一部改正）に関する件
- 第5号議案 公益社団法人愛知県医師会役員等退職慰労金規程（一部改正）に関する件
- 第6号議案 公益社団法人愛知県医師会広域災害救急医療情報システム参加医療機関医師災害補償規程（一部改正）に関する件

協 議

(2) 理 事 会 39回

◆ 原則毎月第1木曜日を除く第2～第5木曜日に開催。

内容については、その都度愛知医報・ホームページ（情報提供）に掲載しております。

(3) 各種委員会・部会・協議会・その他

・医学教育の向上

「現代医学」誌編集委員会	2回
「現代医学」誌座談会	2回
「現代医学」誌編集委員会幹事会	1回
指導医のための教育ワークショップ	1回
治験審査会	12回

・医師の生涯教育

生涯教育委員会	1回
---------	----

・医療政策・医事法・医業経営の調査・研究

（調査室）

調査室委員会	23回
保険医協会との懇談会	6回

（愛知県医師会総合政策研究機構）

愛医総研委員会	10回
愛医総研意見交換会	12回
地域医療再生に関する多職種連携協議会	12回
病院事務職員のための教育ワークショップ	2回
病院の認知症対応力向上事業 企画委員会	4回
病院の認知症対応力向上事業 モデル事業企画支援会議	5回
地域医療再生研修事業講演会	1回

・ 公衆衛生の指導啓発	
健康教育委員会	2回
テレビ番組企画委員会	2回
環境衛生委員会	4回
予防接種広域化に関するプロジェクト	6回
県下医師会予防接種事業担当理事連絡協議会（予防接種広域化事業に関する説明会）	2回
結核講演会	1回
・ 地域医療の推進発展	
難治性疾患委員会	2回
愛知県糖尿病対策推進会議	1回
愛知県糖尿病対策推進協議会	4回
第37回事例症例検討会（警察部会）	1回
検視立会医死体検案業務研修会	3回
警察部会幹事会	1回
愛知県医師会検視医研修会	1回
第1回検視・検案業務に関するシンポジウム	1回
愛知県医師会警察部会と愛知県警察歯科医会との協議会	1回
麻薬等に関する懇談会	1回
勤務医部会幹事会	6回
愛知県医師会医療圏医療協議会	1回
「愛知県国民医療推進協議会」地域集会	1回
・ 救急医療・災害医療対策	
救急委員会	11回
救急委員会小委員会	5回
災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会	1回
愛知県医師会無線システム災害想定訓練	7回
中部医師会連合広域災害救急医療担当理事連絡協議会	1回
AED（BLS）講習会（名古屋市医師会と共催含む）	2回
愛知県救急医療情報センター運営連絡協議会	1回
日医南海トラフ大震災を想定した衛星利用実証実験（防災訓練）	1回
愛知県・稲沢市総合防災訓練	1回
愛知県救急医療推進大会	1回

中部国際空港消火救難・救急医療活動総合訓練	1回
県営名古屋空港消火救難総合訓練	1回
小児救急に関する研修会	1回
愛知県医師会 PTLS 講習会	1回
愛知県医師会 ICLS 研修会	1回
救急医療・災害医療シンポジウム	1回
・地域保健の向上	
産業保健部会幹事会	6回
学校保健部会幹事会	5回
学校保健部会学校健診委員会	3回
心電図精度管理調査解析検討会	1回
母体保護法指定医師審査委員会	6回
母体保護法指定医師審査小委員会	2回
母体保護法指定医師講習会	3回
学校保健シンポジウム	1回
愛知県学校保健健診懇談会	1回
特定健診・保健指導研修会	7回
・医療保険・介護保険の充実	
(医療保険関連)	
社保集団指導講習会並びに医療安全説明会	5回
平成 26 年度診療報酬改定に伴う集団指導	6回
社保指導委員会	8回
保険診療懇談会	1回
国保連絡協議会	2回
(介護保険関連)	
社会福祉専門委員会	9回
GOOD LIFE PROJECT (在宅医療に関するプロジェクト)	4回
在宅医療ネットワーク「いきいき笑顔」連絡協議会	4回
在宅医療ネットワーク「いきいき笑顔」運営委員会	3回
長久手市地域医療連携会議 (愛・ながくて夢ネット連絡協議会)	5回
かかりつけ医認知症対応力向上研修	2回
認知症サポート医フォローアップ研修	1回
保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウム	1回

県下医師会介護保険・障害者総合支援担当理事連絡協議会	1回
・医療安全対策の推進	
医療安全対策委員会	12回
医療安全対策（小）委員会	11回
医療安全支援センター（苦情相談センター）委員会	12回
医療安全支援センター（苦情相談センター）小委員会	5回
死因究明システム運営委員会	4回
愛知県医師会剖検システム運営協議会	1回
・医療施設の整備	
精度管理委員会	2回
精度管理小委員会	1回
精度管理研修会	1回
共同利用施設委員会	1回
・会員の福祉の向上	
新入会員等説明懇談会	2回
会員相談窓口事例検討会	5回
・医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動	
(渉外)	
中部医連常任委員会	12回
中部医連常任委員会懇談会	2回
中部医連日医代議員協議会	2回
中部医連委員総会	1回
中部医連事務局長連絡協議会	2回
関西医連常任委員会	1回
(IT化対策)	
ホームページ・IT化対策委員会	1回
(広報)	
広報委員会	10回
報道関係者との懇談会	9回
・医師・医療関係従事者対策	
(医師確保対策事業の推進)	
男女共同参画委員会	6回
医学生、研修医等をサポートする会	1回



女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会 (医療従事者対策)	1回
愛知県医師会立名古屋助産師学院入学式	1回
愛知県医師会立名古屋助産師学院卒業式	1回
愛知県医師会立名古屋助産師学院運営協議会	2回
医療関係者・看護学校検討委員会	2回
医療事務員講習会	14回
医療事務員資格認定試験	1回
・会務運営・総務・財務	
県下医師会長等協議会	6回
定款諸規程等検討委員会	2回
議事運営委員会	1回
人事委員会	7回
選挙管理委員会	2回
監事会	1回
日医代議員と本会役員との合同協議会	2回

## 2. 業 務

### (1) 諸調査の実施

- 1) 救急患者実態調査
- 2) 急性期脳卒中に関するアンケート調査
- 3) 熱傷入院患者取扱実績報告
- 4) いわゆる在宅医療の継続に関わる阻害因子解明のための追跡調査
- 5) 愛知県医師会治験推進事業に係る二次調査
- 6) 介護施設・事業所、3次救急医療機関における救急医療体制等の現況調査
- 7) 学校医・園医報酬調査
- 8) 休日診療所における救急患者実態調査
- 9) 小児時間外救急に関するアンケート調査
- 10) 年末年始期間中における救急医療体制について
- 11) 予防接種広域化に関する現況調査
- 12) 「学校・園医におけるインフルエンザ治癒後の証明書等提出」に関する調査
- 13) 管轄下の行政との「災害時における協定書」の締結状況等調査
- 14) 気管支喘息発作に関するアンケート調査

15) 会員意識及び実態調査アンケート

(2) 会報・医学雑誌その他の発行

- ・愛知医報
- ・「現代医学」誌 第61巻1号、2号

(3) 医学教育の向上

- ・現代医学

「現代医学」誌編集委員会において、6月開催時に61巻2号（12月発行）の掲載内容を詳細に検討しました。

「現代医学」誌編集委員会幹事会において、今後の発行方針や委員会の在り方について議論しました。

また、座談会を、61巻2号（12月発行）として、「糖尿病治療の最新知識」というテーマに62巻1号（6月発行）として、「医学教育の現状と今後の方向性—愛知県下4大学医学部を中心に—」というテーマに開催しました。

「現代医学」誌においては、61巻1号（6月発行）、61巻2号（12月発行）を発行し、また、会員用ホームページにPDFファイルを掲載しました。

- ・スポーツ医学

平成25年8月10日（土）AP名古屋、名駅において、特定健診・保健指導研修会～日医認定健康スポーツ医学再研修会～を開催し、参加者数は69名でありました。

- ・治験推進事業

会員によるEBM（Evidence-Based Medicine）の実践を目的として、臨床試験及び製造販売後臨床試験等の実施ネットワークを構築かつ推進するため、治験依頼者からの治験相談、治験実施医療機関の登録及び環境整備の支援、後方支援病院との連携、講演会・シンポジウム等の開催による啓蒙活動を行っております。

本会治験審査会は、主として製薬会社主導の治験審査を行っており、依頼者からの新規・継続案件について、治験実施医療機関が治験を安全かつスムーズに行えるよう、毎月治験審査会を開催しており、本期間中は15件の新規案件がございました。

また、昨年度新たな治験実施医療機関の拡充を目的としてA会員を対象としたアンケート調査を行いました。今期はその結果をもとに191名を対象としたアンケート2次調査を行い、58件の回答がありました。

尚、啓蒙活動としては、平成25年8月31日に「愛知県医師会治験推進事業 設立10周年記念講演会」を会員を始めとする医療関係者を対象に行いました。

#### (4) 医師の生涯教育

##### ・生涯教育

各会員に向けて、自身の生涯教育単位、カリキュラムコード取得状況を確認頂く為の封筒を作成し、配付致しました。

平成 25 年 5 月 11 日(土)テレピアホールにおいて「日医生涯教育協力講座特別講演会 認知症の診断から最新の治療まで」(共催：日本医師会 愛知県医師会)を開催し、参加者数は、243 名でありました。平成 25 年 11 月 30 日(土)ミッドランドホールにおいて日医生涯教育協力講座セミナー「家庭血圧測定的重要性」(共催：日本医師会 愛知県医師会)を開催し、参加者数は 161 名でありました。平成 26 年 2 月 8 日(土)中電ホールにおいて「糖尿病患者さんの食習慣を考慮に入れた薬物治療」(共催：日本医師会 愛知県医師会)を開催し、参加者数は 139 名でありました。

「日本医師会生涯教育講座」を別紙のとおり、開催しました。

また、平成 25 年度日本医師会生涯教育制度の単位申請をするにあたり、審査及び登録を行うとともに、主催者から提出される報告書を元に、「生涯教育管理システム」に登録しました。

#### (5) 医療政策・医事法・医業経営の調査・研究

##### ・調査室

マスメディア・業界誌はもとより、日医・関係団体、国会・地方議員、行政、有識者等の幅広い人脈を活かし、医療問題に限らずそれに影響する国内外の政治情勢、経済動向などに関する情報を収集し、議論を重ねた上で、あるべき医療政策の実現に向けて必要な提言・要望をしております。

今年度は 3 年に 1 度の会員意識及び実態調査の実施年度にあたりますので、社会保障や医療制度など医療従事者を取り巻く状況を踏まえつつ調査項目の検討を行い、10 月 1 日より調査を開始いたしました。今回は回答率の向上を目指し、通常の紙媒体での調査に加え、本会会員用ホームページを利用し、Web 上の専用フォームから回答を入力いただけるよう、会員への利便性の向上を図りました。

現在、回収した調査票の回答の集計作業を実施しております。

また安心・安全な医療提供体制を維持する上で、健全な医業経営に向けた環境整備が必要と考え、関係法令の解釈、診療報酬改定や税制改正に伴う影響等についても検証しております。税務対策として、白色申告者対象の確定申告に関する資料を作成し、対象者に配付いたしました。

・愛医総研事業

1) 地域医療再生調査研究事業

平成 21 年 12 月に策定されました愛知県地域医療再生計画に基づき、在宅医療を中心とした地域医療に関する調査を実施。県内全域に普及可能な地域医療連携のあり方について提言することを目的として、愛知県からの委託事業である地域医療再生調査研究事業を展開いたしました。具体的には「いわゆる在宅医療の継続に関わる阻害因子解明のための追跡調査」を行い、調査結果を分析いたしました。なお、本調査は愛知県医師会倫理委員会の承認を受けて行いました。

加えて、愛知県における地域医療を活性化するために、広く地域医療を担う関係者が協働して今後の地域医療のあり方を具体的に検討することを目的に、地域医療再生に関する多職種連携協議会を開催し、主に各職種間における連携連絡票や相談業務について検討いたしました。

また、地域医療に関するテーマに沿った講師を招聘し、意見交換会を原則月 1 回開催いたしました。

2) 地域医療再生研修事業

愛知県地域医療再生計画に基づき地域医療連携の必要性及びその具体的方策について習得することを目的に、地域医療を支える地域の医療機関の医師を始め、医療従事者及び事務職員を対象とした研修を愛知県からの委託を受け企画開催いたしました。

(6) 公衆衛生の指導啓発

・健康教育

県民を対象とした健康教育講座を各分科会等からの協力のもと、本会館において別紙のとおり開催いたしました。

・環境衛生

- 1) 感染症、予防接種、環境保健、結核等対策につきまして、県当局と連携し、地域医師会への情報提供を行いました。協議が必要な事項につきましては、環境衛生委員会にて協議・検討しました。特に 5 月には新型インフルエンザへの対応や風しんワクチンの助成について協議を重ね、風しんワクチンの助成につきましては、愛知県担当部局に対し、対象者への公費補助の早期実現に関し、要望書を提出いたしました。

また、環境衛生委員会では、結核対策事業を地区医師会とともに企画しました。

- 2) 愛知県下における予防接種広域化実現に向け、昨年引き続きプロジェクトを開催し、検討を重ね、5 月 27 日(月)には地区医師会の担当理事へ、5 月 31 日(金)には愛知県予防接種広域化調整会議(愛知県主催、以下「調整会議」)にて市町村担当者に、それぞれ本会に

て検討した広域化について、説明を行いました。その後、支払請求事務について、国保連合会の活用について、地区医師会、市町村からの意見、要望があり、国保連合会との調整を行いました。また、7月、8月、9月と継続して調整会議が開催され、市町村担当者との協議を行いました。同時に、愛知県、県医師会、市町村代表、医師会代表、小児科医会、国保連で構成される愛知県予防接種広域化ワーキング会議にて、事業の細部、検討課題について調整しました。

12月16日(月)に調整会議において、12月24日(火)には県下医師会予防接種事業担当理事連絡協議会において、契約書、運営要領、マニュアル等事業内容の説明を行いました。1月には各地区の接種協力医療機関へ関連資料を発送するとともに、事業参加についての委任状・名簿を取りまとめました。3月19日～24日には東海北陸厚生局との共催で開催した診療報酬改定に伴う集団指導の際、事業の説明を行いました。28日には取りまとめた名簿を愛知県に提出いたしました。

- 3) 平成25年度結核対策医師講習会実施事業として、名古屋市医師会・瀬戸旭医師会・碧南市医師会に事業を委託し、講演を行いました。また、愛知県医師会でも2月26日(水)に結核講演会を開催し、49名の参加がありました。「愛知県の結核診療の現状と課題」と題し、名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学教授 長谷川好規教授にご講演頂きました。
- 4) 日本医師会環境保健委員会、公衆衛生委員会に委員として参加し、会長諮問事項について、検討、協議しました。
- 5) 愛知県健康福祉部健康担当局健康対策課が主催する関係会議へ出席し、検討・協議・発言いたしました。

## (7) 地域医療の推進発展

### ・医療連携

#### (医療計画)

各医療圏の医師会・病院関係者等が地域特性に応じた医療連携を視野に入れ、具体的な事案の意見交換並びに活動を通じ、それぞれの医療圏における保健・医療・福祉提供体制の整備及び充実を図ることを目的とし、愛知県医師会医療圏医療協議会を設けております。今年度は2月12日に開催し、地域医療ビジョン及び新たな財政支援制度について話し合いました。

#### (病診連携)

地域医療支援病院の支援委員会や運営委員会、大学の運営協議会等の委員として出席し、地域の病診連携の現状及びその問題点の把握に努めました。

### ・難治性疾患対策

- 1) 難病相談室の月平均の相談件数は、延199例の多数に達しました。

2) 「難病グループワーク（疾患別患者・家族のつどい）」を以下のように実施しました。

障害年金勉強会	平成 25 年 6 月 14 日(金)
障害年金勉強会	平成 25 年 9 月 27 日(金)
潰瘍性大腸炎	平成 25 年 10 月 31 日(木)
網膜色素変性症	平成 25 年 12 月 10 日(火)
難病患者の就労勉強会	平成 26 年 3 月 10 日(月)

合計 128 名の参加がありました。

3) 「難病講習会」を平成 25 年 10 月 29 日(火)、11 月 5 日(火)、11 月 14 日(木)に愛知県、名古屋市と共催にて開催し、合計 489 名の参加者がありました。

4) 平成 25 年 12 月 19 日(木)に開催された「平成 25 年度愛知県難病医療連絡協議会・連絡会(合同会議)」に参画しました。

5) 「難病講演会」を 3 月 5 日(水)に開催し、125 名の参加がありました。

#### ・糖尿病対策

糖尿病対策として、県民向けに愛知県医師会ホームページ上で、糖尿病食のレシピを公開しておりますが、糖尿病対策だけでなく、生活習慣病対策やダイエット等幅広く、より多くの方のお役に立てていただくため検討しており、レシピを載せたリーフレットを医療機関等に設置していただけるよう、準備しております。なお、リーフレット（SUMMER・WINTER）を発行いたしました。

「愛知県糖尿病対策推進会議学術講演会」を 3 月 1 日(土)に開催し、177 名の参加者がありました。

#### ・非感染性疾患（NCD）対策

「平成 25 年度非感染性疾患（NCD）に関する講演会」を 1 月 28 日(火)に開催し、174 名の出席がありました。

#### ・在宅医療

かかりつけ医を中心にした患者本位の地域医療の推進を目的として、GOOD LIFE PROJECT（在宅医療に関するプロジェクト）を立ち上げ、システムの構築、その有用性を確認するために検討を行いました。

東名古屋医師会豊明支部及び長久手支部に設置し運用している本ネットワークを瀬戸旭医師会にも設置を検討し、本ネットワークの有用性、利便性について検証しております。在宅医療の質を高めるための社会基盤としての定着を目指しており、各地域での取り組みについても情報交換をしております。

#### ・警察医

警察行政全般に対し、事業計画に従い諸問題を検討いたしました。

愛知県警察医会と共催にて、第 37 回事例症例検討会を開催し、愛知県警察医会との連携推進を図っております。

警察行政全般に対し、事業計画に従い諸問題を検討いたしました。

9 月 14 日(土)に第 22 回愛知県医師会検視医研修会を行い、名古屋市立大学大学院医学研究科法医学分野青木康博教授より、『「窒息」の診断』をテーマに講演頂き、62 名の出席がありました。

検視医研修会終了後、第 14 回警察部会と警察歯科医会との協議会を行い、今後の両会の活動方針について話し合いました。

愛知県・稲沢市総合防災訓練、中部国際空港消火救難・救急医療活動総合訓練へ、医師を派遣し、愛知県警と連携して検視・検案訓練を行いました。

11 月 30 日(土)に、第 1 回検視・検案業務に関するシンポジウム『災害時の多数死亡者に対する検視・検案業務における各機関の取り組みと課題について』をテーマに実施し、84 名の出席がありました。

麻薬等に関する懇談会を開催し、関係団体との情報交換を行っております。

平成 26 年 3 月末時点で、検視立会医に 193 名が登録しております。

#### ・勤務医

勤務医部会は、勤務医の学術の向上、勤務環境の改善、福祉の増進、相互の連帯・親睦を図ること等を目的としております。

会員勤務医の医師会諸活動への参加を促すとともに、医師会未加入の勤務医にも医師会活動全般をより深く理解して頂き、医師会への入会を働きかけるよう様々な勤務医対策の検討を行っております。

具体的には、隔月開催の定例幹事会において、過重労働や女性医師の就業支援等、勤務医が抱える問題について検討し、その解決に向けて取り組んでおります。

11 月 9 日には全国医師会勤務医部会連絡協議会が、「勤務医の実態とその環境改善－全医師の協働にむけて」をテーマとして岡山県で開催されました。協議会では岡山宣言が採択され、当部会からは 6 名が出席いたしました。

広報活動としては、「愛知医報」の「勤務医部会だより」に、幹事会議事内容の報告や、幹事が交代で執筆したコラムを掲載しました。

この他、当部会の重要な活動として、愛知県勤務医師生活協同組合と連携し、勤務医の福利厚生への向上にも力を入れております。6 月 19 日には、愛知県勤務医師生活協同組合総会に先立ちまして、社団法人全国社会保険協会連合会 木内 雅人氏をお招きし、「全社連（社会保険病院グループ）の医療材料共同購買の取り組みについて」と題した講演会を共催で開催いたしました。

・自殺対策

- 1) 愛知県自治センターで開催された平成 25 年度愛知県自殺対策推進協議会第 1 回に出席いたしました。

第 1 回 8 月 1 日(木) 14:00 ~ 16:00

- 2) うつ病の早期発見・早期治療による一層の自殺対策の推進を図るため、厚生労働省「かかりつけ医等心の健康対応力向上研修事業」を愛知県より受託し、下記のとおり研修会を開催いたしました。

9 月 1 日(日) 13:00 ~ 17:00 中日パレス 参加者: 42 名

12 月 15 日(日) 13:00 ~ 17:00 名鉄グランドホテル 参加者: 42 名

2 月 9 日(日) 13:00 ~ 17:00 ホテルアソシア豊橋 参加者: 26 名

(8) 救急医療・災害医療対策

・災害・救急医療対策

愛知県広域災害・救急医療情報システム並びに愛知県医師会無線システム、災害時優先携帯電話の運用訓練を行い、無線機等の使用方法の確認と災害を想定した訓練を行っております。医師、医療従事者、消防関係者対象の災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会を開催し、130 名が出席し、修了証を配付しました。

愛知県・稲沢市総合防災訓練、中部国際空港消火救難・救急医療活動総合訓練、県営名古屋空港消火救難総合訓練に参加し、情報センターの情報収集、提供活動として、無線、携帯電話のメール機能を利用し、後方搬送医療機関の空床状況、受入可能な患者数等の情報を確認し、現地本部にて後方搬送時の判断情報として、提供いたしました。

日本医師会、厚生労働省、総務省消防庁、県が作成した救急医療週間ポスター、CAB+D カードの配付を行い、救急週間の啓発に努めました。また、愛知県救急医療推進大会を県・外科医会との共催により、9 月 9 日(月)に開催し、「愛知県における救急搬送の解析」をテーマに講演会を行いました。

また、救急蘇生法、AED の講習を行い、県民への救急医療に関する知識普及と医療関係者の意識の高揚を図り 62 名が出席し、修了証を配付いたしました。

名古屋市医師会との共催による AED (BLS) 講習会 (名古屋市医師会館)、本会主催の AED (BLS) 講習会 (豊橋市保健所・保健センター) を開催し、医師、医療従事者等を含め 58 名が出席し、修了証を配付いたしました。

小児救急に関する研修会を医師、学校関係者を対象に開催し、243 名の出席がありました。

愛知県医師会 PTLIS 講習会を開催し、20 名の出席があり、修了証を配付いたしました。

中部医師会連合広域災害救急医療担当理事連絡協議会が 9 月 21 日(月)に開催され、中部 7 県



の救急・災害医療に関わる活動についての意見交換を行い、連携強化、情報の共有化を図りました。

県下各医師会へ管轄下の行政との「災害時における協定書」の締結状況等の調査を実施し、行政との災害時における協定締結の推進を図りました。

愛知県医師会 ICLS 研修会を開催し、医師会員がコースディレクターを務め、15 名が出席し、修了証を配付いたしました。救急医療・災害医療シンポジウムを 3 月 8 日(土)に開催し、「長寿社会における救急医療」と題し、現状と今後の課題についてご講演いただき、その後会場の方々も交え討論いたしました。

#### ・救急医療情報システム

救急患者実態調査、急性期脳卒中に関するアンケート調査、熱傷入院患者取扱実績報告、休日診療所における救急患者実態調査、小児時間外救急に関するアンケート調査、年末年始期間中における救急医療体制について、昨年に引き続き、アンケート調査を実施いたしました。また、新に介護施設・事業所、3 次救急医療機関における救急医療体制等の現況調査について実施いたしました。

### (9) 地域保健の向上

#### ・産業保健

- 1) 産業医学振興財団の委託事業である産業医研修事業について、産業医基本研修、リフレッシュ研修、特定科目専門研修を日本医師会認定産業医研修会として、産業医研修連絡協議会を本会産業保健部会幹事会として実施しております。また、地区医師会、関係団体等の行う日本医師会認定産業医研修会に共催しております。
- 2) 愛知県地域産業保健センター事業の運営ならびに愛知産業保健推進センター事業の支援をしております。
- 3) 本年度の日本医師会認定産業医については、新規申請者 125 名および更新申請者 1,051 名が認定を受けました。
- 4) 10 月 10 日(木)に日本医師会館で開催された第 35 回産業保健活動推進全国会議に出席いたしました。

#### ・学校保健の推進

- 1) 学校保健部会・学校健診委員会において、学校医・園医報酬、学校保健シンポジウム、第 29 回学校保健健診懇談会、県立高等学校並びに県下小中学校の心電図精度管理等について、検討、協議しました。
- 2) 愛知県教育委員会、愛知県学校保健会、愛知腎臓財団等の関係会議へ出席し、検討・協議・発言いたしました。また、愛知県学校保健会、愛知県養護教育研究会の行事に参加しまし

た。

- 3) 6月11日(火)に定期健康診断における精度管理説明会を開催し、サンプルとなる心電図の提出対象校の選出、尿検査のデータの内容について協議しました。7月7日(日)には心電図精度管理調査解析検討会が開催され、健診機関、教育委員会から提出のあった心電図に関し、学校健診委員会の委員を中心に解析が行われました。
- 4) 7月26日(金)に小児CKD(慢性腎臓病)対策講習会を本会館にて開催し、65名の参加がありました。
- 5) 日本医師会学校保健委員会に委員として参加し、会長諮問事項について、検討、協議しました。
- 6) 9月7日(土)東海学校保健学会(愛知教育大学)、11月9日(土)全国学校保健・学校医大会(秋田市)、11月15日(金)～17日(日)日本学校保健学会(聖心女子大学)が開催され、本会からも出席しました。「学校保健安全法に新設された「保健指導」と学校医の役割について」と題し、発表しました。
- 7) 平成25年3月をもって解散した愛知県学校保健健診協議会の事業を愛知県医師会が引き継ぎ、県医師会主催で、1月13日(月・祝)に第29回学校保健健診懇談会を開催し、101名の参加がありました。定例報告として、「平成25年度心電図精度管理実施報告」を名古屋大学医学部附属病院小児科講師 加藤太一先生、「不整脈の管理基準の改訂」を愛知県済生会リハビリテーション病院院長 長嶋正實先生、「愛知県における学校検尿の現状2013」を名古屋学芸大学ヒューマンケア学部教授 都築一夫先生、「新しい小児CKD(慢性腎臓病)対策」をあいち小児保健医療総合センター副センター長 上村治先生に報告頂きました。続いて、特別講演として、「こどもの肥満・メタボリックシンドローム予防には何が大切か?～全国調査の結果をふまえて～」と題してあいち小児保健医療総合センター内分泌代謝科医長 濱島崇先生にご講演いただきました。
- 8) 3月2日(日)に学校保健シンポジウムを開催し、108名の参加がありました。特別講演として、「学校における食物アレルギー対応」と題し、あいち小児保健医療総合センターアレルギー科内科部長 伊藤浩明先生にご講演いただきました。引き続きシンポジウムでは、「学校現場における各科の今日の健康課題」をテーマに、「学校保健と色覚検査」と題し、日本眼科医会理事 宮浦徹先生にご講演いただきました。続いて、「名古屋市立小学校1年生に対するアレルギー検診の現状と課題」を名古屋市学校保健会副会長・名古屋市耳鼻咽喉科学校医会会長 土井清孝先生、「学校医と養護教諭のための思春期婦人科相談マニュアルについて」を安井みえレディスクリニック院長 安井美繪先生、「学校保健におけるアトピー性皮膚炎の管理」を藤田保健衛生大学皮膚科客員講師 山北高志先生に発表いただき、会場から多くの質問が寄せられました。

・母体保護法指定医師の指定

- 1) 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月までに 53 名の母体保護法指定医師を指定いたしました。  
新規指定医師等に対しては、指導講習会を実施しております。  
平成 26 年 3 月末日における母体保護法指定医師は、455 名です。
- 2) 平成 25 年度更新対象者に対し、7 月 20 日(土)・8 月 24 日(土)・9 月 18 日(水)に母体保護法指定医師講習会を開催いたしました。

・保健事業

- 1) 各種保健事業等につき県当局と協議を重ね、その対策に努力いたしております。
- 2) 平成 20 年から実施されました医療保険者に義務付けられました特定健診・保健指導事業に対応すべく努力いたしております。
- 3) 特定健診・保健指導研修会を別表のとおり開催しております。

(10) 医療保険・介護保険の充実

(医療保険関連)

・社会保険

- 1) 保険診療の質的向上及び適正化を図るため、保険医療機関に対する指導・監査の立会いを実施いたしました。
- 2) 会員を対象に、社保集団指導講習会並びに医療安全説明会を 5 回実施いたしました。
- 3) 情報収集・意見交換等を目的に 9 月 8 日(日)には「中部医師会連合社会保険特別委員会」に出席いたしました。
- 4) 平成 26 年度診療報酬改定に伴う集団指導を 3 月 19 日(水)、20 日(木)、21 日(金・祝)、22 日(土)、24 日(月)に東海北陸厚生局、愛知県との共催で開催いたしました。

(介護保険関連)

・介護保険関連

社会福祉専門委員会では、介護保険、高齢者福祉、障害者福祉、認知症対策等に関する各地区の諸問題について、行政・地区医師会と連携しながら、報告及び検討を重ねております。

10 月 12 日(土)と 11 月 23 日(土・祝)には、かかりつけ医認知症対応力向上研修を開催し、修了者は 82 名でありました。

12 月 14 日(土)には、保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウムを「地域包括ケアを実践するのに必要なもの－柏市の事例から－」をテーマに開催し、参加者は 330 名でありました。

2 月 17 日(月)には、県下医師会介護保険・障害者総合支援担当理事連絡協議会を開催し、参加者は 99 名でありました。

3月9日(日)には、認知症サポート医フォローアップ研修を開催し、参加者は29名でありました。

また、情報収集・意見交換等を目的に8月10日(土)には「中部医師会連合介護保険特別委員会」に出席いたしました。

あいち在宅医療ネットについては、愛知医報・各種会合等を通じて会員・関係機関へのPRを行うと共に、新規登録医療機関を随時募集しました。

#### (11) 医療安全対策の推進

##### ・医療事故・医事紛争対策

- 1) 医療事故・医事紛争対策については、医療過誤の未然防止、医事紛争処理、医療賠償等の観点から、医療安全対策委員会において種々検討しました。さらに、実効性のある医事紛争解決と医療安全のあり方について、医療安全対策小委員会で検討しました。
- 2) 日本医師会「医療安全対策委員会」に細川理事が委員として参加し、日本医師会長の諮問内容である「成果が見える医療安全」について検討が行われました。平成26年1月19日(日)に日本医師会館で開催された「日本医師会医療事故防止研修会」では、愛知県医師会における医療安全対策の取り組みについて、細川理事が講演を行いました。
- 3) 日本医師会「医師賠償責任保険」の関係では、平成25年度中に21件日本医師会へ付託いたしました。また「日医医賠責特約保険」の加入者は、3月末現在で1,665名になりました。

##### ・医療安全支援センター(苦情相談センター)

- 1) 平成25年4月～平成26年3月の相談受付回数は新規・継続ケースを合わせて1,425回となっております。相談窓口業務を相談員が担い、対応については、担当理事並びに医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会の専門委員によって適切になされました。
- 2) 平成25年5月18日(土)鯉城ホールにおいて平成25年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第1回講演会を開催。「患者対応の基礎について～心理学からのアプローチ～」をテーマに明治学院大学心理学部心理学科教授、杉山恵理子氏に講演いただき、432名の参加者がありました。
- 3) 平成25年7月10日(水)愛知県医師会館9階大講堂において、平成25年度「愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)事例検討会」の第1回を開催し、242名の参加者がありました。
- 4) 平成25年7月20日(土)に開催された「第189回愛知県皮膚科医会例会『愛知県医師会における医療安全対策』」に講師を派遣しました。
- 5) 平成25年9月5日(木)・11月7日(木)に開催された「名古屋市医師会医療安全対策講習会『愛

知県医師会の医療安全対策について』」に講師を派遣しました。

- 6) 平成 25 年 10 月 12 日(土) 愛知県医師会館 9 階大講堂において、平成 25 年度「愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)事例検討会(第 2 回) -センター開設 10 周年記念ケース・スタディー」を開催し、195 名の参加者がありました。
- 7) 平成 25 年 11 月 2 日(土) 愛知県医師会大講堂において、平成 25 年度愛知県医療安全支援センター(苦情相談センター)第 2 回講演会を開催。「医療倫理・生命倫理と法 -医療現場から考える」をテーマに東京大学大学院法学政治学研究科教授、樋口範雄氏に講演いただき、265 名の参加がありました。
- 8) 平成 25 年 11 月 23 日(土)・24 日(日)に開催された「医療の質・安全学会第 8 回学術集会」で学会発表を行いました。
- 9) 平成 26 年 1 月 18 日(土) 鯉城ホールにおいて、平成 25 年度「愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)事例検討会」の第 3 回を開催。事例検討ならびに特別講演として日本医師会常任理事、藤川謙二氏を講師に迎え「医師の倫理・資質向上について～日本医師会『会員の倫理・資質向上委員会』の取り組みより～」をテーマに講演いただき、356 名の参加者がありました。
- 10) 平成 26 年 1 月 29 日(水) 開催された「平成 25 年度愛知県医療安全推進協議会」に参画し提言を行いました。
- 11) 平成 26 年 2 月 26 日(水) 日本医師会館にて開催された「日本医師会第 4 回シンポジウム『会員の倫理・資質向上をめざして一都道府県医師会の取り組みおよびケーススタディから学ぶ医の倫理一』」に参加し、活動報告を行いました。
- 12) 平成 26 年 3 月 22 日(土)に開催された「平成 25 年度科学研究費補助金〔基盤研究 C〕『退院支援における患者参加の規定要因に関する質的研究』研究報告会」に参加し、活動報告を行いました。
- 13) 『愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)事例検討会報告集 2013』を作成し、会員始め関係機関へ配付しました。

・医療安全対策

- 1) 県民向けの講習会として、平成 25 年 10 月 4 日(金)に、愛知県がんセンター名誉総長大野竜三氏を講師に迎え、「元気なうちに考えよう -やすらかな最期に備えるリビング・ウィル-」の演題でミッドランドホールにおいて開催いたしました。参加人数は 250 名でした。
- 2) 医療従事者向けの講習会として、平成 25 年 12 月 4 日(水)に、名古屋市立大学医学研究科共同研究教育センター准教授中村敦氏を講師に迎え、「医療関連感染対策と抗菌薬適正使用」の演題でウインクあいち大ホールにおいて開催いたしました。参加人数は 590 名でした。

- 3) 医療従事者向けの講習会として、平成 26 年 2 月 7 日(金)に、名古屋大学医学部附属病院副院長、医療の質・安全管理部教授長尾能雅氏を講師に迎え、「医療安全—大学病院での経験と小規模医療機関への展開—」の演題でウイंकあいち大ホールにおいて開催いたしました。参加人数は 460 名でした。
- 4) 医療安全対策委員会「勉強会」として、平成 26 年 2 月 15 日(土)に、一般社団法人医療安全全国共同行動企画委員会委員長小泉俊三氏を講師に迎え、「医療安全全国共同行動—いのちをまもるパートナーズについて—」の演題で名古屋東急ホテルにおいて開催いたしました。参加人数は 51 名でした。
- 5) 平成 22 年度より医療安全対策の一環として運営している愛知県医師会剖検システムは、愛知県下四大学病院の病理部門のご協力をいただき順調な運営を続けております。
- 6) 医療行為に関連した予期しない死亡事例の死因を医学的に究明することにより、①医療の透明性の確保を図り、②医療関係者へ適切な再発防止策を提言し、③医療の質と安全性の向上に資することを目的として構築した「愛知県医師会死因究明システム」について、適切な運営のために、死因究明システム運営委員会において種々の検討をしております。
- 7) 医療従事者並びに県民を対象に、平成 26 年 3 月 7 日(水)に、日本医師会副会長今村聡氏を講師に迎え、愛知県医師会館 9 階大講堂において「死因究明システムに関する講習会」を開催いたしました。また、同講演会では細川理事から愛知県医師会死因究明システムに関する説明を致しました。参加人数は 80 名でした。

## (12) 医療施設の整備

### ・共同利用施設並びに臨床検査精度管理

共同利用施設については、県下医師会の共同利用施設と連携しつつ、8 月 31 日(土)・9 月 1 日(日)にパシフィコ横浜に於いて開催されました「第 25 回全国医師会共同利用施設総会」に参加いたしました。また、11 月 4 日(月・振)には岐阜グランドホテルに於いて開催されました「平成 25 年度中部医師会連合共同利用施設連絡協議会」に参加いたしました。

臨床検査精度管理については、県下における臨床検査施設の実態把握と精度向上を図る目的で、直送方式の精度管理調査(血清学・血液学・病理学・生化学)を実施いたしました。

## (13) 会員の福祉の向上

### ・生命保険団体取扱い

生命保険団体取扱事務の現状は、現在 8 社、契約人数 809 人、契約件数 1,217 件であり、月掛取扱保険料は、7,921 万余円でありました。

・会員相談窓口

平成 22 年 9 月 1 日に会員福祉を目的として設置され、平成 24 年 4 月 16 日より一般相談と分けて専門の相談員による診療報酬に関する相談窓口を開設しました。

平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月の一般相談件数は 156 件あり、その内、医療安全対策委員会で諮られた事例は 7 件でした。また、平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月の診療報酬に関する相談件数は 153 件となりました。相談の対応については、担当理事を始め、専門の相談員により適切になされました。

・新入会員等説明懇談会

平成 24 年 12 月から平成 25 年 6 月入会の新入会員を対象に平成 25 年 9 月 4 日(水)、平成 25 年 7 月から 11 月入会の新入会員を対象に平成 26 年 2 月 6 日(木)に開催し、「医師会の機構と運営・医師連盟」、「保険医療関係」、「医療安全」、「苦情相談、会員相談窓口」についてそれぞれ説明を行い、9 月 4 日(水)は 68 名、2 月 6 日(木)は 70 名の出席がありました。

・労働保険事務組合

委託事業所数は 91 件（H26. 3. 31 現在）であり、前年度より 1 件減りました。事務手続きは社会保険労務士事務所へ委託しており、手続き件数は取得 79 件喪失 89 件でした。

(14) 医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動

(渉 外)

・中部医連

本年度は岐阜県が主務担当となり、常任委員会 12 回、常任委員会懇談会 2 回、中部医連日医代議員協議会 2 回が開催され、当面する諸問題について協議、検討いたしました。平成 25 年 11 月 16 日(土)、17 日(日)には、岐阜県において委員総会が開催され、決算・予算等の承認が行われました。また、日本医師会始め中部 7 県医師会の新法人移行に伴い、役員任期が 6 月まで延長となったので、中部医連もそれに準じ、役員任期を 7 月 1 日に始まり翌年 6 月 30 日までの 1 年とする規約の改正について承認されました。

また、事務局長連絡協議会が 2 回開催されました。

・関西医連

三重県が主務担当となり、京都市において関西医師会連合常任委員会が平成 25 年 8 月 3 日(土)に開催されました。次年度主務担当県は滋賀県です。

(IT 化対策)

・ホームページ・IT 化対策

- 1) 遠隔地同士を結んだ遠隔会議システムについて、別会場からも会議に参加できるように設営しました。今後、どの会議でも活用できるよう、引き続き運用ノウハウを蓄積して参り

ます。

- 2) 災害時安否情報確認システムについて、定期的に疎通確認を実施しました。

また、登録者の追加等実施し、災害時に向けて準備しております。

- 3) 過不足なく迅速に会員への情報提供を図るため、ホームページ及び愛医通信を運用し、内容の充実に努めております。

- 4) 災害時安否確認システムについて、9月4日（台風）・9月16日（大雨）に安否確認メールを送信いたしました。

9月4日（台風）の回答率は56.8%、9月16日（大雨）の回答率は58.6%でした。

- 5) 理事会に使用していた無線LAN環境及びペーパーレス会議システムを再構築いたしました。

## (広 報)

### ・広 報

対外活動のひとつとして、健康・医療・福祉について県民とともに考え、また医師会活動を紹介するために、テレビ番組“健康ワンダフル”（テレビ愛知）を企画、制作し、「別紙」のような内容で毎月最終土曜日に放映いたしました。（平成26年3月放送分をもって放映を終了いたしました。）

### ・対外広報

報道関係者と毎月第4木曜日に懇談会を開催し、医療問題等について積極的に話し合いを行っております。

## (15) 医師・医療関係従事者対策

### (医師確保対策事業の推進)

#### ・医師確保

本会では、平成18年9月1日より事務局内に愛知県医師会地域医療人材育成センター（ドクターバンク）窓口を開設し、医師の職業紹介事業を行っており、宮治 眞所長管轄の下、求職中の医師並びに求人中の医療機関等の間に立ち、両者の希望を面談にて確認した上で、条件等のマッチングを図りました。

求職医師と求人医療機関を引き合わせた後、採用が成立した場合は、勤務開始後1～2ヵ月後を目処に、紹介した医師並びに医療機関の間で条件のミスマッチが生じていないか調査し、両者の調整に努めました。

また、広報面では、愛知医報並びにホームページにてドクターバンクに登録のある求人医療機関の情報発信を行い、求職医師に最新情報を随時提供するよう努めました。

この他、愛知県医師会勤務医部会幹事会にて事業報告を行い、愛知県内病院幹部である役員



と事業運営に役立てるよう意見交換を行いました。

・男女共同参画

- 1) 近年、医療現場で働く女性医師数が増加している一方、医師としてのキャリアと家事・育児を両立する難しさ等、数多くの問題があります。昨今の医師不足の中、これからも増加していくであろう女性医師や女子医学生の活用は必要不可欠なことと考え、多くの諸問題に取り組みました。
- 2) 10月9日(水)に藤田保健衛生大学で「医学生、研修医等をサポートする会」を開催いたしました。
- 3) 12月14日(土)に愛知県医師会館で「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」を開催いたしました。

・若手医師の会に関する活動

現在、本会の約半数の会員は勤務医会員であり、勤務医に如何に医師会の活動に参加してもらうかが大きなテーマであります。しかしながら、若手の病院勤務医師の入会率は極めて低いのが現状です。

そこで、本会として広く各診療科の見識を持つ若手医師を育てる為に、ジェネラルマインド医師養成セミナーを開催しました。本セミナーは特に外来診療と各診療科への知識向上に資するものです。また、医師会と若手医師の関係が近くなり、医療政策に若手の意見が反映されるよう努めました。

今年度開催したセミナーは別紙の通りでした。

また、若手医師にとって関心の高い医療問題に関しディスカッションできる場を目的とし、愛知県医師会若手医師委員会を設けております。

(医療従事者対策)

・医療従事者対策

- 1) 医療関係者・看護学校検討委員会において、各看護学校より入学・卒業、准看護師資格取得状況等を報告され、問題点等を検討いたしました。また、愛知県下にて准看護師養成所の学生募集が円滑に行なえるよう検討いたしました。
- 2) 医療従事者関係無料職業紹介所を常設し、取扱い職業を医療関係者とし、求人・求職の登録、紹介と斡旋を行いました。
- 3) 医療事務員講習会を9月・10月に開催しました。全14日間、28講座を行い、12月に認定試験を行った結果、75名が合格しました。

(助産師学院)

- 1) 平成25年4月5日(金)に愛知県医師会館にて入学式が行われ、19名が入学しました。
- 2) 平成26年3月12日(水)に愛知県医師会館にて卒業式が行われ、19名が卒業しました。

(医療秘書学院)

医師の良き補佐役となる医療秘書を養成しております。平成 25 年度 4 月には 13 名を新しく迎え入れ、平均月 2 回のスクーリングとレポートで、医学基礎知識や医療保険請求事務について学び、日本医師会認定医療秘書の取得を目標としております。3 月には 20 名の方を輩出し、そのうち 10 名が日本医師会認定医療秘書を取得されました。

(16) 会務運営・総務・財務

・会館整備

建物及び設備の法定調査に於いて改善指摘を受けた個所を中心に、修繕等を実施しました。また定期点検も各法に基づいて実施しました。

・会館運営

会館運営については、電気設備、空調設備、清掃等各関係業者との保守管理契約を結び、会館の維持管理に努めました。

(17) その他

・公益社団法人愛知県医師会定款冊子の作成について

公益社団法人愛知県医師会定款、愛知県医師会定款施行細則、愛知県医師会選挙規則、愛知県医師会代議員会議事規則、愛知県医師会裁定委員会規則を掲載した冊子を 9,500 部作成し、全会員へ送付しました。

## 会員数

平成 26 年 3 月 31 日現在の本会会員数は 8,972 名で県下医師会別は下表の通りであります。

区 分	会 員 数
名古屋市	3,471
一宮市	525
瀬戸旭	223
半田市	117
春日井市	287
津島市	75
小牧市	116
東海市	101
岩倉市	44
東名古屋	220
西名古屋	144
尾北	279
稲沢市	134
海部	219
知多郡	274
豊橋市	483
岡崎市	437
豊川市	159
碧南市	56
刈谷	226
豊田加茂	420
蒲郡市	80
安城市	182
西尾幡豆	121
北設楽郡	7
新城	40
田原市	49
名古屋市大	195
名古屋市大	126
藤保大	80
愛医大	82
合 計	8,972

物故会員

(平 25. 4 ~ 平 26. 3 届出分)

氏 名	年 齡	地 区 別	死亡年月日
吉 田 慎 二 殿	76 歳	名 古 屋 市 中 区	H25.1.8
藤 野 和 郎 殿	79 歳	小 牧 市	H25.1.19
黒 川 光 明 殿	87 歳	名 古 屋 市 千 種 区	H25.1.29
田 中 幸 男 殿	83 歳	豊 橋 市	H25.2.14
山 田 正 信 殿	81 歳	名 古 屋 市 中 村 区	H25.2.20
安 間 秋 靖 殿	92 歳	名 古 屋 市 守 山 区	H25.3.8
吉 田 文 直 殿	70 歳	豊 橋 市	H25.3.18
鳥 居 太 殿	85 歳	蒲 郡 市	H25.3.19
市 原 岑 生 殿	85 歳	名 古 屋 市 名 東 区	H25.3.26
小 幡 宏 子 殿	74 歳	岡 崎 市	H25.3.27
石 川 務 殿	79 歳	豊 橋 市	H25.3.29
前 田 恭 彦 殿	50 歳	名 古 屋 市 北 区	H25.3.29
八 木 秀 雄 殿	63 歳	津 島 市	H25.4.6
奥 田 赳 殿	90 歳	名 古 屋 市 瑞 穂 区	H25.4.9
飯 田 豊 殿	43 歳	一 宮 市	H25.4.13
岡 田 朝 生 殿	83 歳	小 牧 市	H25.4.18
山 林 繁 殿	86 歳	名 古 屋 市 千 種 区	H25.4.20
鈴 木 誠 殿	83 歳	名 古 屋 市 昭 和 区	H25.4.22
山 田 行 男 殿	78 歳	尾 北	H25.4.27
今 川 準 蔵 殿	87 歳	一 宮 市	H25.5.1
榊 原 玄 也 殿	86 歳	蒲 郡 市	H25.5.1
奈 倉 早 苗 殿	95 歳	名 古 屋 市 瑞 穂 区	H25.5.13
近 田 嘉 人 殿	87 歳	豊 田 加 茂	H25.5.13
藤 本 潔 殿	88 歳	名 古 屋 市 北 区	H25.5.20
塚 崎 鴻 殿	84 歳	名 古 屋 市 中 区	H25.5.26
服 部 龍 夫 殿	84 歳	名 古 屋 市 中 村 区	H25.5.28
稲 垣 義 彰 殿	75 歳	名 古 屋 市 中 村 区	H25.6.12
小 出 昭 三 殿	84 歳	津 島 市	H25.6.13
黒 川 實 殿	86 歳	名 古 屋 市 中 村 区	H25.6.14

	中島貞利殿	81歳	西名古屋	H25.6.19
	高野映子殿	60歳	名古屋市昭和区	H25.6.25
	湯佐祚子殿	77歳	名古屋市緑区	H25.6.30
	神谷研殿	93歳	碧南市	H25.7.2
	塚本純久殿	65歳	田原市	H25.7.2
	中村朗殿	87歳	名古屋市千種区	H25.7.6
	前田聰殿	80歳	名古屋市千種区	H25.7.23
	江崎正則殿	64歳	名古屋市中区	H25.7.27
	川路豊樹殿	90歳	名古屋市西区	H25.8.1
	舘栄一郎殿	90歳	名古屋市中区	H25.8.7
	近藤博恒殿	80歳	東名古屋	H25.8.10
	岩瀬克巳殿	63歳	藤田保健衛生大学	H25.8.17
	杉山正憲殿	66歳	名古屋市名東区	H25.8.19
	伊藤徳雄殿	87歳	名古屋市中区	H25.8.26
	柿澤久美殿	80歳	名古屋市中川区	H25.9.1
	井出毅殿	82歳	名古屋市中村区	H25.9.9
	山口弘三殿	88歳	半田市	H25.9.15
	大島司馬夫殿	87歳	西名古屋	H25.9.18
	加納泉殿	85歳	名古屋市中区	H25.9.18
	加藤敏夫殿	98歳	一宮市	H25.9.20
	山崎雅彦殿	68歳	豊田加茂	H25.9.22
	鈴木崇夫殿	76歳	刈谷	H25.9.25
	石原公郎殿	69歳	名古屋市南区	H25.9.28
※	紫藤祥一殿	84歳	名古屋市守山区	H25.10.4
※	紫藤祥一殿	84歳	瀬戸旭	H25.10.4
	杉田慎一郎殿	96歳	名古屋市中区	H25.10.7
	野村聰殿	81歳	安城市	H25.10.15
	松岡道子殿	72歳	豊田加茂	H25.10.27
	岡田甫殿	86歳	岡崎市	H25.11.6
	田中朝夫殿	92歳	碧南市	H25.11.15
	神谷四郎殿	99歳	安城市	H25.11.18
	船越浩治殿	80歳	豊田加茂	H25.11.25

藤本 徹 殿	85 歳	名古屋市千種区	H25.12.1
渡邊 美智子 殿	93 歳	名古屋市千種区	H25.12.13
須田 郁一 殿	83 歳	岡崎市	H25.12.25
小笠原 禎三 殿	88 歳	名古屋市緑区	H25.12.29
大野 和美 殿	67 歳	豊川市	H25.12.29
久納 幸雄 殿	78 歳	尾北	H26.1.3
岡嶋 雪男 殿	88 歳	名古屋市千種区	H26.1.5
浅井 喜久雄 殿	82 歳	名古屋市中川区	H26.1.7
森瀬 雅典 殿	69 歳	一宮市	H26.1.9
野畑 鏢子 殿	86 歳	東海市	H26.1.18
野村 貞好 殿	69 歳	稲沢市	H26.1.28
千葉 和胤 殿	85 歳	名古屋市港区	H26.2.9
中山 茂 殿	81 歳	西名古屋	H26.2.9
今泉 博夫 殿	92 歳	新城市	H26.2.16
伊藤 晃 殿	71 歳	名古屋市中村区	H26.2.16
清水 浩光 殿	87 歳	名古屋市北区	H26.2.19
塚田 朗 殿	93 歳	名古屋市昭和区	H26.2.22
神谷 武正 殿	63 歳	豊川市	H26.2.23
佐藤 正夫 殿	96 歳	豊田加茂	H26.2.27
杉浦 孝正 殿	91 歳	蒲郡市	H26.3.7

他1名 以上82名

※は2ヶ所会員の方です。

## 会館会議室等使用状況

会 場 名	件 数
B 1 講 堂	44
4 F 理 事 会 議 室	57
5 F 501 会 議 室	158
6 F 601 会 議 室	99
6 F 研 修 室	135
7 F 情 報 セ ン タ ー 研 修 室	24
8 F 801 会 議 室	139
8 F 802 会 議 室	124
8 F 803 会 議 室	108
8 F 804 会 議 室	129
8 F 805 会 議 室	64
8 F 応 接 室	64
9 F 大 講 堂	155
合 計	1,300

平成 25 年度 日本医師会生涯教育講座

【外科】	
期 日	平成 25 年 8 月 22 日(木)
会 場	中日パレス クラウンホール
共 催	愛知県外科医会
テーマ	大腸癌の最近の治療
座 長	愛知県外科医会理事 林 敬一郎
演 題	「進行再発大腸癌に対する化学療法：分子標的薬剤」
講 師	名古屋大学医学部附属病院 病院講師 中山吾郎
座 長	愛知県外科医会生涯教育委員会 委員長 早川直和
演 題	「大腸癌外科治療の現状と展望－進行直腸癌に対する集学的治療と低侵襲手術の導入－」
講 師	名古屋大学大学院 腫瘍外科学 病院講師 上原圭介
参加者 35 名	

【産婦人科】	
期 日	平成 25 年 8 月 24 日(土)
会 場	愛知県医師会館 9 階 大講堂
共 催	愛知県産婦人科医会
テーマ	産婦人科診療 Up to date
司 会	名古屋市立東部医療センター副院長・第一産婦人科部長 村上 勇
座 長	刈谷豊田総合病院 産婦人科部長 山本真一
演 題	「AMH と卵巣予備能」
講 師	浅田レディース名古屋駅前クリニック 浅田義正
演 題	「周産期母子感染症について」
講 師	産科婦人科種村ウィメンズクリニック 種村光代
演 題	「ベセスダシステム導入後 CIN の病理学的・臨床的取扱い～要精検その後 実際どうなっている？～」
講 師	名古屋大学医学部 産婦人科 講師 水野美香
参加者 149 名	



【プライマリ・ケア講座】	
期 日	平成 25 年 8 月 29 日(木)
会 場	愛知県医師会館 9 階大講堂
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会副委員長 佐藤 徹
演 題	「保険診療の実際」
講 師	社会保険診療報酬支払基金愛知支部審査委員長 安藤忠夫
演 題	「保険診療の指導・監査について」
講 師	愛知県医師会理事 樫尾富二
演 題	「睡眠と医療（生活リズム）」
講 師	愛知医科大学医学部教授 塩見利明
演 題	「ピロリ菌除菌による胃がん予防と逆流性胃・食道炎」
講 師	藤田保健衛生大学消化管内科准教授 柴田知行
参加者 43 名	

【眼科】	
期 日	平成 25 年 8 月 31 日(土)
会 場	愛知県医師会館 9 階 大講堂
共 催	愛知県眼科医会
司 会	愛知県眼科医会理事 中村 誠
演 題	「三歳児健診－弱視の早期発見・治療」
講 師	金沢大学附属病院 眼科 非常勤医 杉山能子
演 題	「白内障手術のトラブルシューティング」
講 師	東邦大学医療センター大森病院 准教授 小早川信一郎
参加者 157 名	

【精神科】	
期 日	平成 25 年 9 月 19 日(木)
会 場	愛知県医師会館 地下 健康教育講堂
共 催	愛知県精神科医会・愛知県精神科病院協会・愛知精神神経科診療所協会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 平山太日子
演 題	「多様な『うつ』の見極めと対応」
講 師	名古屋大学大学院医学系研究科 精神医学分野・親と子どもの心療学分野教授 尾崎紀夫
参加者 28 名	

【内科】	
期 日	平成 25 年 10 月 24 日(木)
会 場	愛知県医師会館 9 階 大講堂
共 催	愛知県内科医会
テーマ	糖尿病治療をめぐる最新の問題点
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員長 太田 宏
演 題	「有痛性糖尿病性神経障害へのアプローチ」
講 師	中部ろうさい病院 糖尿病センター・糖尿病内分泌内科 部長 中島英太郎
演 題	「糖尿病と骨粗鬆症」
講 師	藤田保健衛生大学医学部内分泌・代謝内科准教授 鈴木敦詞
参加者 20 名	

【耳鼻咽喉科】	
期 日	平成 25 年 10 月 26 日(土)
会 場	愛知県医師会館 9 階 大講堂
共 催	愛知県耳鼻咽喉科医会
座 長	愛知県耳鼻咽喉科医会理事 石田和也
演 題	「画像評価と耳科手術」
講 師	名古屋大学大学院医学系研究科 頭頸部・感覚器外科学 耳鼻咽喉科認知・言語医学准教授 曾根三千彦
座 長	愛知県耳鼻咽喉科医会理事 星野通隆
演 題	「最先端のがん放射線療法～高精度放射線治療と粒子線治療」
講 師	名古屋市立大学大学院医学研究科 放射線医学分野 主任教授 芝本雄太
参加者 62 名	

【泌尿器科】	
期 日	平成 25 年 10 月 26 日(土)
会 場	ウェスティンナゴヤキャッスル
共 催	愛知県泌尿器科医会
座 長	愛知県泌尿器科医会理事 小島宗門
演 題	「泌尿医科ロボット支援手術の現状と展望」
講 師	藤田保健衛生大学 医学部 腎泌尿器外科学 教授 白木良一
座 長	愛知県泌尿器科医会理事 小島宗門
演 題	「高齢者排尿ケアの現状と展望:超高齢化社会における泌尿器科のニュー・フロンティア」
講 師	名古屋大学大学院医学系研究科泌尿器科学 教授 後藤百万
参加者 62 名	

【共通科】	
期 日	平成 25 年 12 月 6 日(金)
会 場	愛知県医師会館 地下 健康教育講堂
テーマ	不整脈とくに心房細動をめぐる最新の展開
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員長 太田 宏
演 題	「不整脈のリスク評価」
講 師	名古屋掖済会病院 院長 加藤林也
演 題	「心房細動のカテーテルアブレーション治療をめぐる」
講 師	名古屋第二赤十字病院 第二循環器内科部長 吉田幸彦
演 題	「不整脈から脳梗塞に至った症例の脳外科治療の最近の進歩」
講 師	名古屋大学大学院医学系研究科 細胞情報医学専攻 脳神経病態制御学講座 准教授 宮地 茂
参加者 32 名	

【小児科】	
期 日	平成 25 年 12 月 8 日(日)
会 場	愛知県医師会館 9 階大講堂
共 催	愛知県小児科医会
座 長	愛知県小児科医会 理事 岡田純一
演 題	「ワクチンで予防可能な細菌感染症－肺炎球菌、Hib、百日咳－
講 師	江南厚生病院こども医療センター 顧問 尾崎隆男
座 長	愛知県小児科医会会長 北條泰男
演 題	「小児の心臓性突然死と QT 延長症候群」
講 師	愛知県済生会リハビリテーション病院 院長 長嶋正實
参加者 83 名	

平成 25 年度 愛知県医師会健康教育講座

回数	開催日	テーマ	講師	参加者数
738	4月16日	五十肩かな？と思ったら －肩の痛みについて－	名鉄病院整形外科 部長 大藪直子	315
739	5月15日	頻尿－その原因と対処法－	山田ファミリークリニック 院長 山田泰之	324
740	6月19日	汗のおはなし	愛知医科大学病院皮膚科 講師 大嶋雄一郎	218
741	7月4日	高齢者のセクシャリティ	名鉄病院 院長 細井延行	192
742	8月21日	黄昏に寄り添う： 看取りの介護を考える	中部労災病院神経内科 部長 上條美樹子	264
743	9月3日	“精神病”の遺伝と偏見	藤田保健衛生大学 精神神経科学講座 教授 岩田仲生	144
744	9月14日	加齢黄斑変性について	名古屋市立大学大学院 医学研究科視覚科学 助教 加藤亜紀	143
745	10月9日	こどものワクチン up date	名古屋大学大学院医学系研究科 小児科学 講師 伊藤嘉規	41
746	11月28日	やけどの治療	社会保険中京病院救急科 主任部長 上山昌史	87
747	12月5日	認知症の予防	国立長寿医療研究センター 内科総合 診療部長 遠藤英俊	240

748	1月21日	白内障手術 -私はいつ受けようかな?-	名古屋市西部医療センター眼科 部長 中沢陽子	331
749	2月12日	介護保険と認知症	名古屋市介護認定審査会 会長 黒川 豊	247
750	3月13日	花粉症治療の最前線	名古屋市立大学耳鼻咽喉科 准教授 鈴木元彦	117

## 難病相談室取扱いケース内容

ケース数		神 経	耳 鼻	眼	膠原病	皮 膚	骨・関節	腎 臓	循環器	消化器
	新規ケース	229	47	132	84	53	81	11	26	154
	継続ケース	271	28	136	120	55	73	33	19	183
	計	500	75	268	204	108	154	44	45	337
ケース数		呼吸器	内分泌 及び代謝	脳外科	血 液	小 児	心 身	血管外科	その他	合 計
	新規ケース	30	23	21	31	21	43	5	160	1,151
	継続ケース	28	10	39	36	21	59	13	114	1,238
	計	58	33	60	67	42	102	18	274	2,389

取扱い内容	アセスメント（重複）	
	疾病の背景要因の発見	3
	治療や療養生活への適応	1,326
	家族との関係や家族の生活	138
	職業・住居などの社会生活	225
	医療・生活などの経済面	236
	社会復帰への受入れと適応	490
	医療機関利用	280
	その他	142
	合 計	2,840
主なケースワーク措置		
応急的援助	6	
背景調査	1	
相談面接	845	
関係調整	1,129	
制度利用	104	
施設利用	35	
グループワーク	210	
その他	59	
合 計	2,389	

新規ケース紹介者	医療機関	71
	保健所・保健センター	115
	福祉事務所	4
	その他公的機関	48
	本人又は家族	364
	広報・ポスター等	241
	新聞・ラジオ・テレビ	5
	その他	303
	合 計	1,151

## 特定健診・保健指導研修会

回	日時・場所	テ ー マ	講師	参加人数
1	平成 25 年 8 月 10 日(土) 14 時～17 時 10 分 AP 名古屋・名駅	健康診断と事後指導	医療法人順秀会理事長  加 藤 秀 平	69
		たばこ・アルコールに関する 保健指導	(株) ジェイテクト  統括産業医 福 井 明	
		生活習慣病予防と保健指導	中部ろうさい病院勤労者 予防医療 河 村 孝 彦 センター所長	
2	平成 25 年 12 月 3 日(火) 14 時～15 時 中日パレス	返戻とならない特定保健指導 請求書の作成方法	特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち  管理栄養士 三 浦 真喜子	24
3	平成 26 年 1 月 24 日(金) 14 時～15 時 津島市文化会館	返戻とならない特定保健指導 請求書の作成方法	特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち  管理栄養士 三 浦 真喜子	16
4	平成 26 年 1 月 31 日(金) 14 時～15 時 ホテルプラザ勝川	返戻とならない特定保健指導 請求書の作成方法	特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち  管理栄養士 三 浦 真喜子	18
5	平成 26 年 2 月 21 日(金) 14 時～15 時 ホテルアソシア豊橋	返戻とならない特定保健指導 請求書の作成方法	特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち  管理栄養士 三 浦 真喜子	21
6	平成 26 年 2 月 28 日(金) 14 時～15 時 名鉄トヨタホテル	返戻とならない特定保健指導 請求書の作成方法	特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち  管理栄養士 三 浦 真喜子	13
7	平成 26 年 3 月 14 日(金) 14 時～15 時 中日パレス	返戻とならない特定保健指導 請求書の作成方法	特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち  管理栄養士 三 浦 真喜子	23



## 平成 25 年度テレビ番組「健康ワンダフル」

放送テレビ：テレビ愛知（デジタル 10ch）

放送日時：毎月最終土曜日午前 7 時 00 分～7 時 30 分

放送日時	テーマ	出演
4 月 27 日	「白内障」	眼科 戸塚伸吉
5 月 25 日	「前立腺癌の早期発見と最新治療」	泌尿器科 金尾健人
6 月 29 日	「現代日本人の食生活と脂質異常症」	内科 平光伸也
7 月 27 日	「脊柱管狭窄症について」	整形外科 稲田充
8 月 31 日	「いつか子どもを持ちたいあなたへ」 ～妊娠適齢期～	産婦人科 杉浦真弓
9 月 28 日	「あなたの脳は大丈夫？ - 脳卒中の予防と治療 -」	外科 山本直人
10 月 26 日	「知っておきたい帯状疱疹 - 治療、予防の最新情報 -」	皮膚科 渡辺大輔
11 月 30 日	「おねしょって病気なの？ ~ 夜尿症の原因と治療」	小児科 岩間正文
12 月 21 日	「楽しく愉快的な老後のために」	病院協会 山本纈子
1 月 25 日	「あなたは大丈夫？糖尿病」	内科 加藤泰久
2 月 22 日	「首の腫れ・しこり」	耳鼻咽喉科 桜井一生
3 月 29 日	「成人の発達障害」	精神科 吉川徹

## ジェネラルマインド医師養成セミナー

回	日時・場所	テ ー マ	講 師	参加人数
12	平成 25 年 7 月 6 日(土) 午後 4 時～7 時 8 階 802～804 会議室	循環器内科が最強の 臨床医を育てる	慶應義塾大学病院 循環器内科 香 坂 俊 講師	34
13	平成 25 年 9 月 7 日(土) 午後 4 時～7 時 6 階研修室	たかが腹痛 されど腹痛	かみいち総合病院 内科部長 佐 藤 幸 浩	29
14	平成 25 年 10 月 26 日(土) 午後 4 時～7 時 6 階研修室	すべての臨床医に 知ってほしい 腎臓内科・電解質のエッセンス	聖路加国際病院 副院長・ 腎臓内科部長 小 松 康 宏	33
15	平成 25 年 12 月 14 日(土) 午後 4 時～7 時 6 階研修室	呼吸器疾患のピットフォール： Case based discussion	杏林大学医学部付属病院 呼吸器内科 皿 谷 健 助教	30
16	平成 26 年 2 月 15 日(土) 午後 4 時～7 時 6 階研修室	これだけで OK 糖尿病エンパワーメントから 考える薬選びのコツ	名古屋大学大学院医学系研究科 地域総合ヘルスケアシステム 開発寄附講座 岡 崎 研太郎 講師	31

## 生命保険団体取扱状況調

(平 26. 3 月末現在)

会 社 名	契約人数	契約件数	月掛保険料
日 本 生 命	264	388	32,652,182
マ ス ミ ュ ー チ ュ ア ル 生 命	15	18	362,366
ジ ブ ラ ル タ 生 命	23	38	3,283,002
第 一 生 命	111	179	9,200,731
朝 日 生 命	47	71	3,361,237
明 治 安 田 生 命	107	150	8,652,578
三 井 生 命	165	262	13,383,111
住 友 生 命	77	111	8,317,122
合 計	809	1,217	79,212,329

## 決 議

昨年夏の参院選を経て安定政権が樹立され、政府はアベノミクスと称する経済政策による高い支持率を背景に、社会保障と税の一体改革を強引に推し進めようとしている。しかし本年4月に施行される消費税増税により、国民の多くは未だその恩恵を受けないまま一層の税負担を強いられることとなり、国民生活の先行きには暗雲が立ち込めている。

社会保障制度改革国民会議は持続可能な社会保障制度確立のために、その機能強化と財政を考慮した「年齢別」から「負担能力別」への負担転換を指摘した。しかしそれを踏まえ成立したいわゆるプログラム法案では、社会保障の機能強化は置き去りにされ、国民負担増ありきの財政中心の制度改革へ向かう内容となった。さらに政府は本来個々に議論されるべき医療法や介護保険法などの改正案を一括法案と称し、国民への丁寧な説明もなく、きめ細かな議論も経ずに成立させることを目論んでいる。これは社会保障制度の効率化の名のもとに、医療費抑制へと向かう政府の姿勢を一層明らかなものとしている。

社会保障の財源となる消費税について社会保険診療は非課税とされているが、実際には診療報酬に織り込まれる形で患者への税負担が存在し制度的に矛盾している。今春の診療報酬改定では消費税増税分の補填が為されたものの、もともと存在する不当な消費税負担である控除対象外消費税問題が解決されないまま放置されている。医療における消費税問題は、患者に不要な税負担を強いるばかりでなく医療機関の経営的な体力をも奪い、良質な社会保障提供体制を危うくするものである。消費税率10%への増税が来年10月に予定されているが、この問題を解決するには社会保険診療への消費税を課税とし、その税率をゼロパーセントにするのが最善である。

我々は、地域医療に貢献し国民に安心安全な質の高い医療を提供するため、以下のことを決議する。

### 記

- 一、財政先行の社会保障制度改革を改めよ
- 一、社会保険診療に対する消費税を課税とし、ゼロ税率に改めよ

平成 26 年 3 月 15 日

公益社団法人 愛知県医師会 第 170 回（臨時）代議員会